

## 授業科目 保健統計学

【担当教員名】 瀧口 徹		対象学年	3	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：GIO】 各種身体状況は人によって異なり、年齢によって異なり、健康状態によって異なる。疾病予防とハイリスク者の検出、早期発見等を行うことにより健康長寿社会を保ってきている。そのための医薬品、医療用具を開発し、その効果を判定するツールとしての医療統計学を学ぶ。加えて集団や個人の健康度を判定するための疫学的指標について学び、将来直面する健康課題への対応力を取得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 医療統計学の意義について説明できる。					
2. 母集団と標本調査の概念を説明できる。					
3. 指標の尺度（比尺度、単位尺度、順序尺度、名義尺度）の違いと統計処理上の注意点を説明できる。					
4. 基本的な統計量（基礎統計量）を説明できる。					
5. 基本的な検定法を説明できる。					
6. 単相関係数、回帰直線について説明できる。					
7. 欠損値、異常値処理の手法について説明できる。					
8. 代表的な多変量解析法について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医療統計学の意義			1	講義、担当：瀧口 徹
2	母集団と標準偏差			2	講義、担当：瀧口 徹
3	指標の尺度（1）			3	講義、担当：瀧口 徹
4	指標の尺度（1）			3	講義、担当：瀧口 徹
5	基礎統計量			4	講義、担当：瀧口 徹
6	基本的な検定法（1）			5	講義、担当：瀧口 徹
7	基本的な検定法（2）			5	講義、担当：瀧口 徹
8	基本的な検定法（3）			5	講義、担当：瀧口 徹
9	単相関係数、回帰直線（1）			6	講義、担当：瀧口 徹
10	単相関係数、回帰直線（2）			6	講義、担当：瀧口 徹
11	欠損値、異常値処理（1）			7	講義、担当：瀧口 徹
12	欠損値、異常値処理（2）			7	講義、担当：瀧口 徹
13	代表的な多変量解析法（1）			8	講義、担当：瀧口 徹
14	代表的な多変量解析法（2）			8	講義、担当：瀧口 徹
15	総合解説			2-8	講義、担当：瀧口 徹
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		EZRでやさしく学ぶ統計学	神田善伸	中外医学社	2012・4,600円+税
その他の資料					
【評価方法】 事業毎に行う小テスト（30%程度） 期末テスト（70%程度）			【履修上の留意点】 コンピュータ環境が整った現在にあっても（医学）統計は学生にとって、また社会人にとっても難解の部類に属するようです。その主因は（1）統計の必要性、（2）母集団の概念、（3）尺度の違い、（4）統計ソフトが算出する各種結果の意味、（5）疫学手法との関連（統計結果の質の問題）が曖昧であることだと思われます。これらを理解するのに王道はありません。授業1回、1回の理解を積み重ねていくことが近見だと考えます。そのための工夫をして授業を行いますので頑張って履修してください。		